

5

異文化と自己認識

異なる環境・文化に直面したときに、人間は自分をどのように考え、どのような行動を取るのでしょうか。日本と海外の事例を紹介し、現代の我々の場合についても一緒に考えてみたいと思います。

会場	対面： サテライトキャンパスひろしま（広島県民文化センター5階） オンライン： -
時間	14:40~17:50
定員	対面： 50名 オンライン： -名
対象	どなたでも
受講料	無料
申込方法	郵送・Web
申込期限	一次申込締切： 10/31(木) ※ 定員に達しなければ 12/11(水)（必着）まで先着順で受付

アオテアロアニュージーランドのパケハ論と日本の戦争トラウマ研究：ディコロナイゼーションから考える平和学

講師： 大学院人間社会科学研究科 教授 中村 平

第1回

12/21(土)

14:40~16:10

日本の殖民主義（コロニアリズム）を広島で考えたい。今回はその補助線として、昨年度、現地調査を行ったニュージーランドの白人（パケハ）の自己認識と、日本の戦争のトラウマについて、講師自身の家族史を背景としてディコロナイゼーション（脱殖民化）論を展開する。

五山文化・文学の始まり—禅僧の葛藤—

講師： 大学院人間社会科学研究科 准教授 太田 亨

第2回

12/21(土)

16:20~17:50

中国から伝わった禅宗は日本においてなぜ広まったのでしょうか。禅宗では「以心伝心」「不立文字」に代表するように、文字を否定しているのに、なぜ禅僧は様々な文学作品を作ったのでしょうか。五山文化・文学の始まりとその際の禅僧の葛藤について、考えてみましょう。

講座内容に関する
お問い合わせ先

人文社会科学系支援室（文学）運営支援担当

電話： 082-424-6602

メール： bun-soumu@office.hiroshima-u.ac.jp